

遊!!すぽーつ

第 17 号

平成 15 年 6 月 1 日
発行

神戸市体育指導委員協議会
神戸市教育委員会

21st Century

特集

ごうどスポーツクラブ始動!!

会員登録2000人を突破!!更に登録者増加中
クラブハウス(町民体育館1F)で、随時会員登録受付中!!

ごうどスポーツクラブの設立総会が2月22日(土)に開催され、初代会長に小倉武郎氏(神戸市体育指導委員協議会委員長)が選任され、始動に向けての体制が整いました。

その後の会員募集も順調に進み、約1か月の間に登録者数が2000人を超え、更に増加しつつあります。

そして、4月1日、ごうどスポーツクラブは活動をスタートしました。そこで、今回は、クラブの今後の課題について、下記の三つの点から考えてみたいと思います。



ごうどスポーツクラブ設立総会



ファミリースポーツデー(4月20日)

- ・役員として直接運営に携わる。
- ・指導者として教室等の運営に携わる。
- ・クラブの発展のために建設的な意見を事務局などに寄せる。
- ・周囲に呼びかけ、クラブのなかまを増やす。

これ以外にも、いろいろあると思います。できることから始めましょう。

今、全国の各市町村では、税収入の減少と高齢者の高額医療費の急増が、財政を大きく圧迫しています。「受益者負担」型社会への移行ということが言われていますが、今後、さまざまな補助金が大幅にカットされると思われます。神戸市も例外ではありません。

そこで、GSCが担う役割は、地域社会のスポーツ環境を維持・発展させていくだけでなく、元気なお年寄りを増やすことでもあります。スポーツ習慣のある高齢者の「寝たきり」になる率が低いことは、さまざまな統計等によって示されている通りです。

◎クラブを支えるのは会員全員

ごうどスポーツクラブ(以下、「GSC」という。)は、会員数2000人以上を抱え、順調なスタートを切ったかのように見えます。しかし、果たしてそういえるのでしょうか?

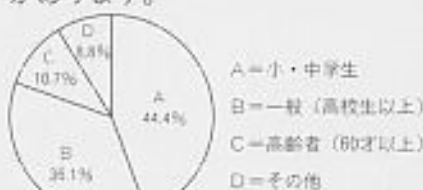
平成15年度は、文部科学省の指定期間で、神戸市からも大きな支援を受けています。まだ産声を上げたばかりのGSCは、行政に大きく依存しているのです。しかし、近い将来「自主運営」ができるようになる必要があります。

それでは「自主運営」ができるクラブになるためには、何が必要なのでしょう?一言でいうと、会員一人一人がこのクラブを支える側に立つということです。具体的には、いろいろな方法が考えられます。次にいくつかの点をあげてみました。

◎クラブの必要性を理解しよう

下の円グラフは、会員の構成を区分によってまとめたものです。

当初の予想以上に一般(高校生以上)の登録がありました。まさに「多世代」型のクラブだといえる状況です。また、今後20年ほどの間は、超高齢社会へと移行していくことから、高齢者の構成比が高くなっていくことが予想されます。GSCにおいても積極的に高齢者の会員増をめざしていく必要があります。



2003年4月28日現在

◎会員のメリットの考え方

自分の希望するスポーツ教室が受講できる、バードゴルフ場やフィットネスルームが安く利用できるなどのメリットはご存じだと思います。しかし、GSCの存在がなくなったら、今後のこの地域のスポーツ環境の劣悪化(例:スポーツ少年団が存続できない、多世代型のスポーツ場が提供できないetc.)が起こりうるということもふまえて、長期的展望に立ったメリットのとらえ方をしていくことも必要です。

平成15年度 神戸町体育指導委員協議会メンバー紹介

スポーツが大好きでフレッシュな仲間2名が、新たにメンバーに加わりました。大好きなスポーツをこれからもっとたくさんみなさんに楽しんでもらえるように活躍していきます。また、スポーツするきっかけを探しているみなさんに、「ごうどスポーツクラブ」の紹介を含め、楽しいスポーツや仲間との出会いの機会を提供していきたいと思っています。早く名前と顔を覚えてくださいね。

校 区	氏 名	地区名	TEL	役 職
神戸小 ◎	田中耕二			副委員長
	河瀬和寛			
	若園千恵美			
	吉田真仁子			
下宮小 ◎	番 直雄			
	山川広利			
	石崎智佐子			
南平野小 ◎	清水博子			女性代表
	谷 齊			
	松岡 徹			
北小	小倉武郎			委員長
	◎ 尾方祥子			
	堤 勝則			
	☆ 小野太久朗			
学校代表 ☆	渡邊佳子			

◎印は、校区代表 ☆印は、新任

◎新任体育指導委員自己紹介◎

木々の緑が日ごとに深まるこの季節、皆さん元気にスポーツしていますか。

新任の小野です。新しい世界へ一歩踏み出す期待と不安と…そんな複雑な気持ちでいっぱいです。また、「ごうどスポーツクラブ」発足という大切な年であり、地域にあったスポーツクラブの夢をかなえるために、新風を吹きこむことができればと思います。

スポーツを通し、皆さんと楽しい時期をいっしょさせてください。よろしくお願いします。



【小野 太久朗】

平成15年度の神戸中学校代表として、今回町の体育指導のお手伝いをさせていただくことになりました。

神中生は今年度も部活動に精一杯取り組んでいます。2・3年生が新入部員に、やさしく時には厳しく、礼儀やマナー、ルールについて教えている姿は大変微笑ましく頼もしい限りです。

スポーツを通し、さらに生涯にわたって、明るい豊かな生活を営む生徒を育成することが、私の願いでもあります。どうぞよろしくお願いします。



【渡邊 佳子】

岐阜県体育指導委員研究大会

平成14年度岐阜県体育指導委員研究大会が平成15年2月21日の大野町総合市民センターにて、「21世紀型生涯スポーツをめざして」という研究主題で行われました。

はじめに、岐阜県体育指導委員功労者表彰が行われ143名の方々が受けられ、我々の仲間の【谷 齊】・【尾方 祥子】両委員も表彰を受けられました。

次に、「これからの体育指導委員に期待したいこと」をテーマに澤登 貞行氏（前 全国体育指導委員連合専務理事）の講演があり文部科学省が策定する「スポーツ振興基本計画」の説明・指導委員の役割の変遷・今後取り組むべき重要課題等の話をされました。

午後は、分科会が行われ第1分科会・第2分科会・第3分科会と別れて行い私たちは第1分科会に参加し、岐阜市の発表「21世紀のスポーツ振興の在り方 総合型地域スポーツクラブの取り組み」として精華スポーツクラブ、長森・日野スポーツクラブの2つのクラブの4年間の実践について話され、次に垂井町「健康で明るく活力のある地域づくり市民1スポーツをめざして」として話されました。何処の町も同じような悩みや課題に突き当たっているのだなと実感し、そしてもっともっと皆と協力し合いながら頑張っていかなければ…と思いました。【河瀬】

コミュニティスポーツタイム

昨年6月よりグラウンド、12月より体育館を使い各小学校校区の方を対象に土曜日午前中（月1回）種目協会の方々の協力をもって、軽スポーツを知ってもらい、実技をかねて楽しんでいただきました。

今年、前期は町一斉に土曜日午前中（月1回）各小学校体育館を使いコミュニティスポーツタイムを開きます。一度のぞいてみてください。



ティーボール

昨年度から始められた、8回にわたってのコミュニティスポーツタイム。その活動の素晴らしさは、異年齢の子供たちが一緒になって運動したり、スポーツ本来の楽しさを味わったりしたことにあるように思いました。勝つことや競い合うことを目的としない、体を動かすことの楽しさを純粋に感じ合うことができる空間がそこにはありました。さらさら光った顔でスポーツを楽しむ場所、まさに心と体のオアシスのように感じました。

【広瀬 満さん】



スカイクロス

私は、このコミュニティスポーツタイムで友達と協力することの大切さを学ぶことができました。また、自分は、こんなことができるのかなどと自分の本当の力に気づくことができました。

【神戸中1年 竹中 彩乃さん】

私ははじめてコミュニティスポーツタイムへ行ったとき、キンボールをやりました。ボールが大きくてビックリしました。そしてとてもボールが持ちにくくて重かったです。4人でチームを作って3人でボールを持ち上げて、1人が打つゲームでした。いろいろな人とチームを作りやっているうちに、とても楽しくなってきました。それからはいつも参加しました。

インディアカやソフトバレーボールなど、どれも楽しかったです。またコミュニティスポーツタイムに行きたいです。

【下宮小3年 山川珠依さん】

私は子供のときからいろいろなスポーツを行ってきましたが、それぞれの種目に対しての楽しさ、面白さがあり、個人またはチームメイトとの喜怒哀楽を味わってきました。現在もソフトバレーボールを楽しんでいます。



キンボール

今年コミュニティスポーツタイムに息子、孫と三世代で参加して、キンボール、インディアカ、ソフトバレーボール等各種軽スポーツを楽しみました。初めのうちは年配者、子供たち、また、普段スポーツになじみのない人もプレイに戸惑いもありましたが、時間が経つにつれ要領もルールも理解し、参加者全員が家族のような雰囲気になりお互いに大きな声を出し、子供が大人に指示をしたり、大人が子供に声をかけたりして楽しみました。時間の経つのも忘れ、体育指導委員の方の終わりですの声に、もっとやりたいという声が多くの人々から聞こえました。

このコミュニティスポーツタイムに対して、体育指導委員の方々の指導とご協力に感謝の意を尽くしません。ベンを置きます。

【山川 誠一さん】

第50回東海四県体育指導委員研究大会に参加して

私たち、体育指導委員メンバーは、岡崎市中央緑地公園総合体育館にて開催された研究発表大会に参加してきました。私は、このような会合は苦手でつい居眠りをしてしまうほどです。しかし、今回は、(財)日本サッカー協会キャプテン・川淵三郎氏の話は、時間が経つのを忘れ時には笑い、時には涙して参加者全員が聞き入ってしまうほどでした。

話の内容を紹介すると、「ワールドカップとその遺したものを」を演題に、「Jリーグを発足するにあたり、プロ化を目指して企業スポーツから市民スポーツへとシフトすべく、企業に企業名をチーム名から外す事への理解を得るために苦労した事、また、協会が一番驚いたことは、10チームに絞り込む時、8チームはすんなり決まり残り2チーム(清水・鹿島共に市民チーム)がなかなか条件が揃わず難航していた、中でもアントラーズ(茨城の片田舎)は、立候補していたが、協会側から見れば99.9%無理だから諦めるよう、無理難題を投げかけたにも関わらず、ことごとくクリアーしてしまい、ついには、屋根付きの15,000人収容スタジアムまでができた。現在の活躍はご承知のとおり、これもひとえに企業型ではなく市民参加型の代表例である。私たちこうどスポーツクラブも、規模は全く違うが自主運営の点では共通しているので見習うことは多々あると感じた。

続いてワールドカップ開催中のキャンプ地での出来事で、和歌山県にてキャンプを張ったデンマークチームと地元住民との交流会で、こんなエピソード

があったそうです。

サイン会を催したところ、1人の少年が自分の番にきたにも関わらずモジモジしているので、トマソン選手が通訳を通じその子に話しかけたところ何も返事がない。なぜかと言うと、この少年は、聴覚に障害があることが判った。するとトマソン選手はサインをもらいに並んでいる子供たちに、この少年と話をする時間の許しを得て手話で話かけたが、(姉が同じ境遇なので彼は手話ができる)万国共通でないため通じなかった。しかし、トマソン選手は「君が辛いとき、家族や特にお母さんはもっと辛い。君は決してひとりぼっちじゃないんだ。」と言って励まし、再び和歌山に来ることを約束して別れ、(予選リーグは韓国で行う)約束どおり再びこの地でキャンプを張った。そして、さよならパーティーで再び少年に会い、トマソン選手は再び話しかけた。「これは、神様が君にあたえた試練だからもうどうすることもできないけれど、でもいつか君にも得点のチャンスがくる。そのチャンスを必ず生かさない。」と励ましたそうです。このようにワールドカップ期間中、心温まるエピソードは、たくさんあったそうです。川淵氏は、これが一番大切なこと、日本にとって一番の収穫だったと話していました。まだまだ、トルシエ前監督と選手との確執話や、ジーコ新監督のことなど私たちでは知り得ない裏話が盛りだくさんで充実した一日でした。【松岡】

神戸市体育推進員連絡協議会名簿

～生涯スポーツ推進を後押し～

平成15年度の体育推進員が下記のとおり決定しました。各区でのスポーツの推進を始め、校区や町の行事等にも積極的にご協力いただき、スポーツ振興の担い手として活躍が期待されます。

区名	氏名	区名	氏名	区名	氏名
	杉山正弘		堀場周史		小川祐次
	西川鋭雄		八代 忍		若園昭一
	三浦義明		吉岡淳二		岡田里美
	竹中年幸		島本昌孝		安藤英樹
	馬淵雅男		吉田正仁		竹中広美
	澤田重利		石崎時彦		嶋村武信
	太田好子		山本一正		国枝芳和
	栗野重典		山川 真		竹中照明
	西脇博文		戸川一美		石原 均
	奥垣弘美		小倉武一		伊東静夫
	林 尊満		水川八郎		野村三男
	宮前武雄		工藤正美		東 実男
	安田貞美		松岡智治		鈴木 應
	谷口 智		石井朋寿		長良 隆
	宮川仁一		河合正美		下越義一
	片桐 彰		安藤 実		中川茂寛
	所 勤		佐久間敏幸		
	成瀬基樹		竹中保夫		敬称略

なお、校区代表は次のとおりです。

【神戸小校区】

(会 長) 宮川仁一(下宮)
(副会長) 片桐 彰(前田)、所 勤(起)

【下宮小校区】

(会 長) 吉田正仁(新屋敷)
(副会長) 石崎時彦(瀬古)、小倉武一(柳瀬)

【南平野小校区】

(会 長) 佐久間敏幸(中沢)
(副会長) 松岡智治(西保)、河合正美(八条)

【北小校区】

(会 長) 石原 均(安次)
(副会長) 伊東静夫(高塚)、野村三男(清水町)

編集後記

「医療費」3割負担、
家計にひびいてきます。
病気になるよう健康に
注意したいものです。
体を動かして、汗
をかき気分爽快に!!

(S.O)

